

平成20年度診療報酬改定結果検証に係る調査
後期高齢者にふさわしい医療の実施状況調査1
－ 後期高齢者診療料の算定状況に係る調査 －
結果概要（速報）

I 調査の概要

1. 調査目的

- ・ 保険医療機関における後期高齢者診療料の算定状況の把握
- ・ 後期高齢者診療料を算定する保険医療機関を受診している患者状況の変化の把握

2. 調査対象

- ・ 本調査は、全国の後期高齢者診療料の届出を行っている医療機関を対象とした「施設調査」と後期高齢者診療料の算定を受けている患者を対象とした「患者調査」から構成される。
- ・ 施設調査は、全国の後期高齢者診療料の届出を行っている医療機関から無作為に抽出した3,500施設を対象とした。
- ・ 患者調査は、施設調査対象医療機関にて後期高齢者診療料の算定を受けている患者で、施設調査の開始日より遡って、直近（1ヶ月以内）に来院された患者を対象とした。

3. 調査方法

(1) 施設調査

- ・ 自記式調査票の郵送発送、郵送回収
- ・ 調査実施時期は11月

(2) 患者調査

- ・ 自記式調査票の施設調査対象医療機関における手渡し、郵送回収
- ・ 調査実施時期は11月（施設調査と同時）

4. 調査項目

(1) 施設調査

区 分	内 容
施設属性項目	<ul style="list-style-type: none"> ・施設種別、病床数、開設者、診療科目 ・在宅療養支援診療所（病院）の届出状況 ・後期高齢者診療料の算定状況
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・外来患者総数及び75歳以上外来患者数（H19.10&H20.10） ・主病別の後期高齢者診療料算定患者数（H20.10） ・通院回数や検査頻度など主病別の前年・今年の実数変化とその理由 ・後期高齢者診療料の算定に係る今後の意向 ・後期高齢者診療料の算定に係る効果について ・後期高齢者診療料を算定できない患者がいる場合の理由について ・後期高齢者診療料の算定を途中で止めた場合の理由について ・後期高齢者診療料の主病別算定患者数（H20.8～H20.10） ・後期高齢者診療計画書の主病別交付総回数（H20.8～H20.10） ・後期高齢者診療計画書の作成に要する平均時間 ・後期高齢者診療計画書の記載に要する患者への平均説明時間 ・後期高齢者診療計画書の記載されている緊急時入院先病院数 ・後期高齢者診療計画書及び本日の診療内容の要点に対する意見 ・後期高齢者診療料の活用に向けた姿勢について ・75歳以上外来患者にみる後期高齢者診療料への理解度 ・後期高齢者診療料に係る外来患者からの問合せ内容 ・後期高齢者診療料を1人も算定していない場合の理由

(2) 患者調査

区 分	内 容
属性項目	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、性別 ・通院期間、1ヶ月当り通院回数 ・後期高齢者診療計画書に記載の病名数及び主病名 ・調査票の記入者
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者診療計画書をもらった月について ・後期高齢者診療料の算定前後の通院回数の変化 ・通院している医療機関数 ・後期高齢者診療料の算定前後の通院施設数の変化 ・後期高齢者診療料の算定前後の検査回数・処方薬数・診療時間の変化 ・他医療機関からの対応状況 ・後期高齢者診療料の算定後のよかった点 ・後期高齢者診療料の算定後の気になった点・疑問点 ・後期高齢者診療料の算定前後の診療等に対する満足度の変化

II 調査結果の概要

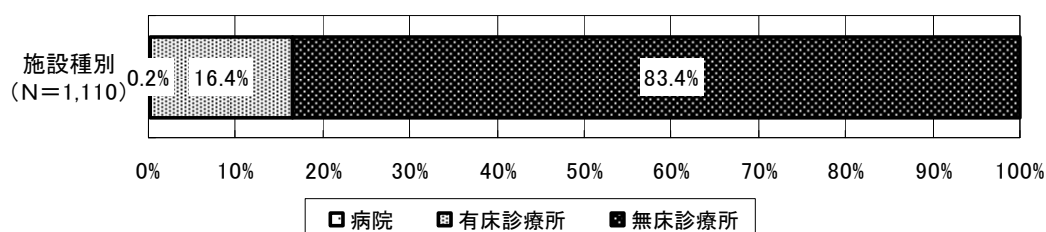
1. 施設調査

(1) 回収の状況 (図表 1-1)

施設種類	発送数	有効回収数	回収率
後期高齢者診療料の届出を行っている医療機関	3,500 件	1,100 件	31.4%

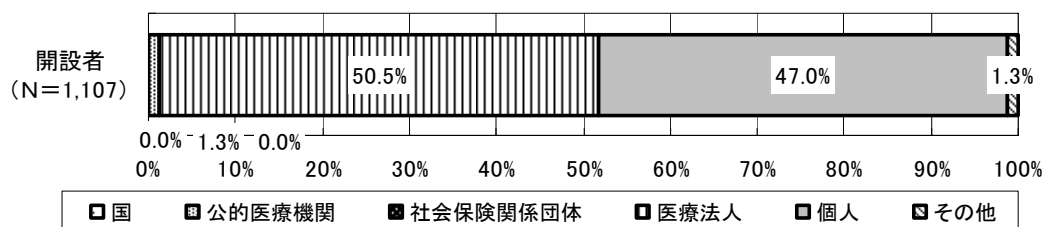
(2) 回答施設の属性

・施設種別 (図表 1-2)



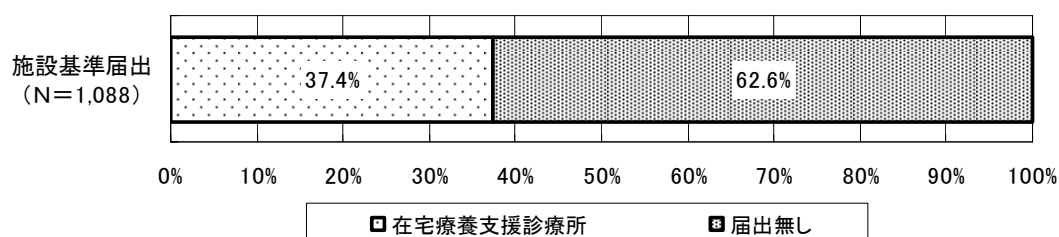
以下、診療所に限定

・開設者 (図表 1-3)

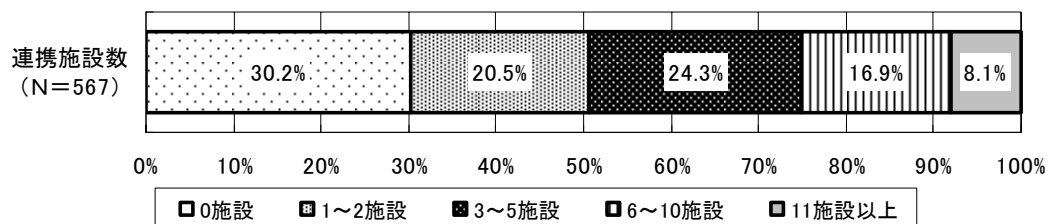


- ・主たる診療科目 ...
- 第1位 内科 559 施設 (68.4%)
- 第2位 消化器科 51 施設 (6.2%)
- 第3位 外科 50 施設 (6.1%)
- 第4位 整形外科 49 施設 (6.0%)

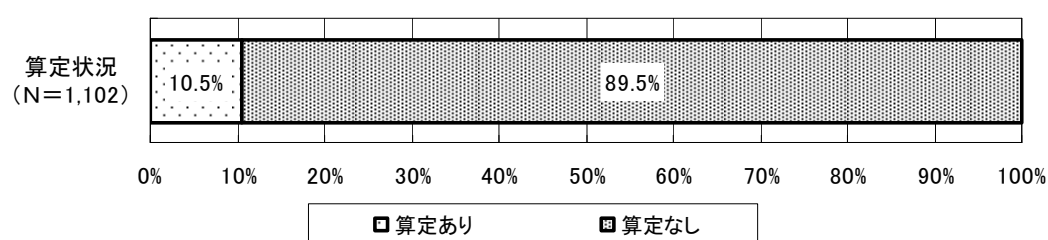
・在宅療養支援診療所の届出状況 (図表 1-4)



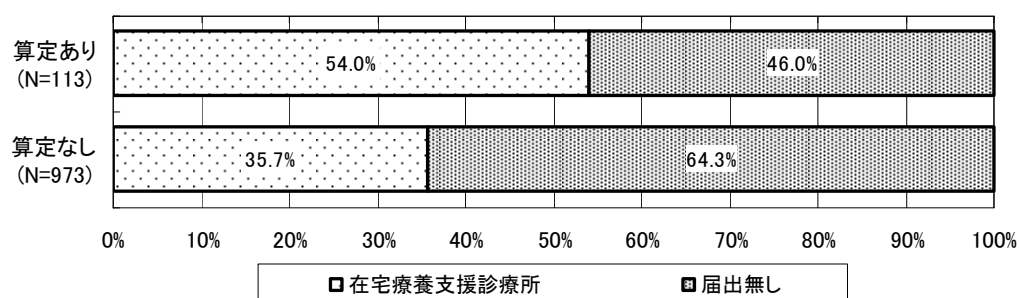
・ 連携している保健・医療・福祉サービス関連施設数（図表 1-5）



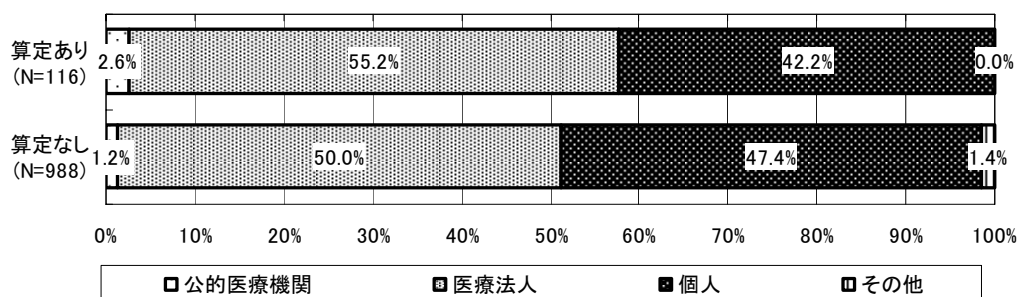
・ 後期高齢者診療料の算定状況（図表 1-6）



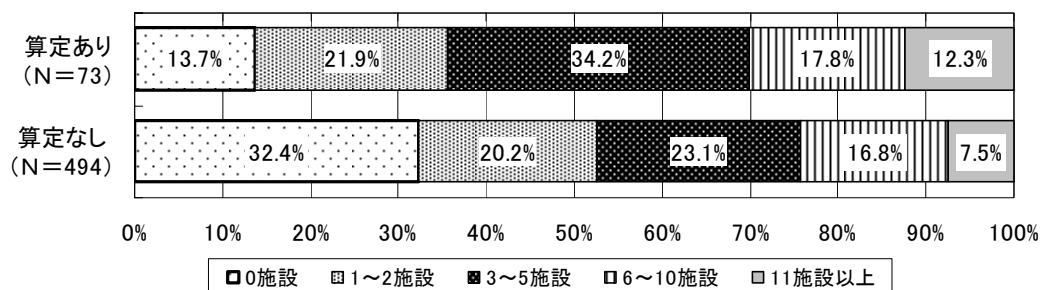
・ 算定有無別 在宅療養支援診療所の届出状況（図表 1-7）



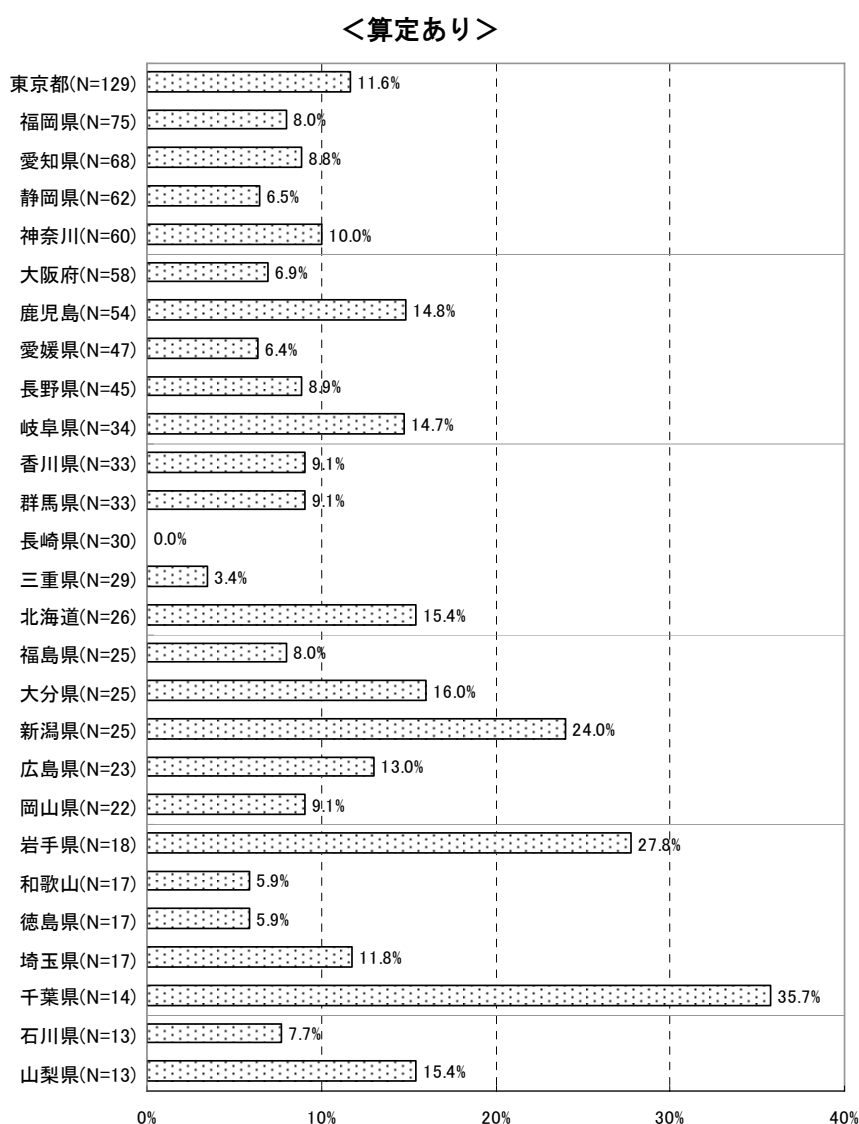
・ 算定有無別 開設者（図表 1-8）



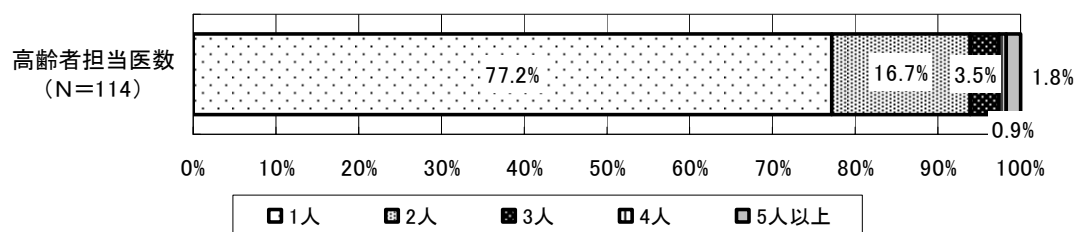
・算定有無別 連携施設数（図表 1-9）



・算定有 地域別状況（n数10以下は表記していない）（図表 1-10）



・高齢者担当医 医師数 (図表 1-11) ...平均 1.39 人

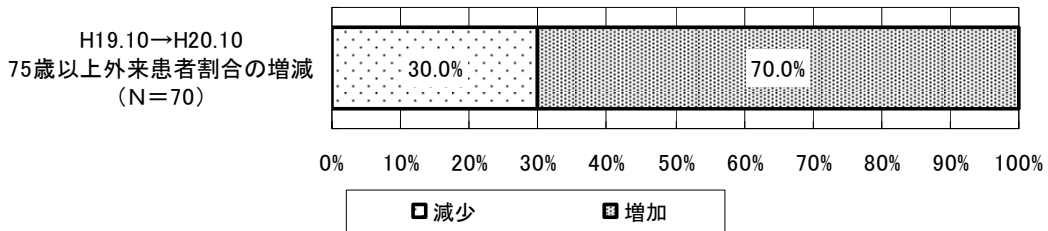


(2) 後期高齢者診療料の算定状況（問6「算定あり」限定）

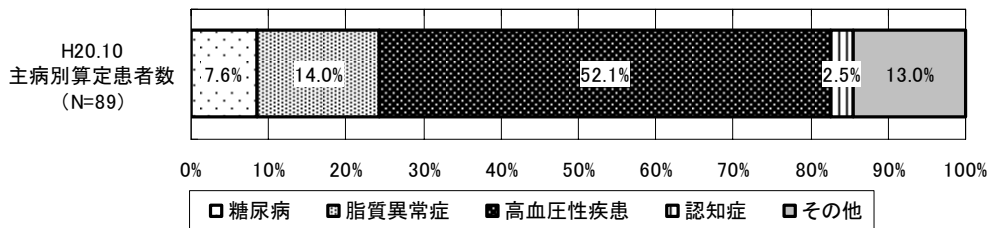
・ 外来患者総数に占める 75 歳以上外来患者比率

- H20 年 10 月 : 34.5%
- H19 年 10 月 : 34.7%

・ 外来患者総数に占める 75 歳以上外来患者比率の変化（図表 1-12）



・ 主病別 算定患者数の状況（H20.10）（図表 1-13）



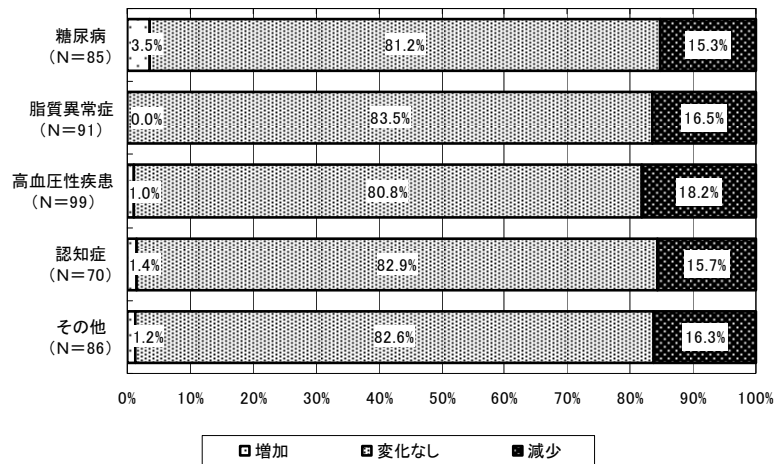
算定患者割合平均値			
□ 糖尿病	:	37.8%	
□ 脂質異常症	:	47.2%	
□ 高血圧性疾患	:	46.7%	
□ 認知症	:	36.4%	
□ その他	:	41.2%	

・ 主病別 患者 1 人当たり 1 ヶ月平均来院回数（H20.10）（図表 1-14）

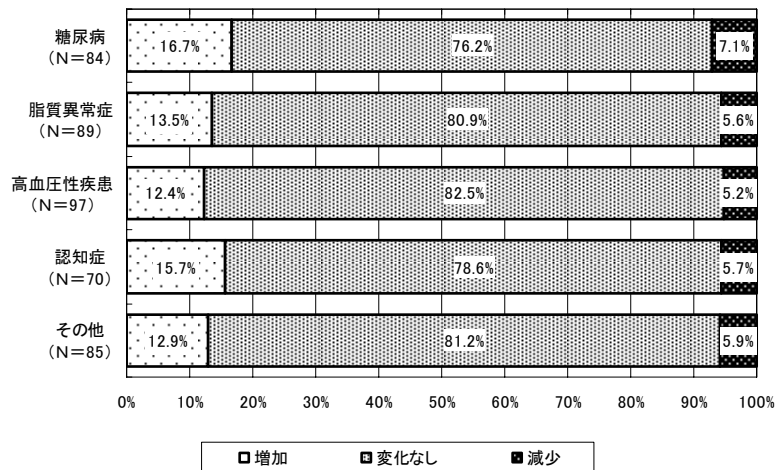
	75 歳以上外来患者	診療料算定患者
糖尿病	0.73 回	0.64 回
脂質異常症	0.54 回	0.45 回
高血圧性疾患	0.64 回	0.52 回
認知症	0.64 回	0.61 回
その他	0.63 回	0.60 回

・通院回数や検査頻度など主病別の前年・今年の数値変化（図表 1-15）

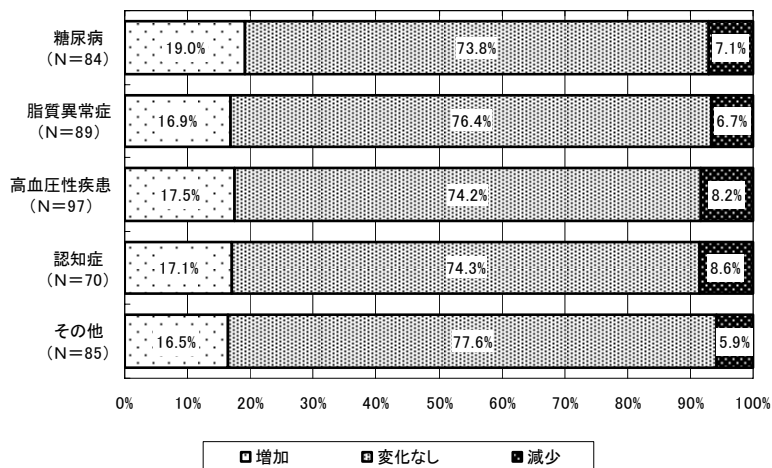
<3ヶ月間の総通院回数>



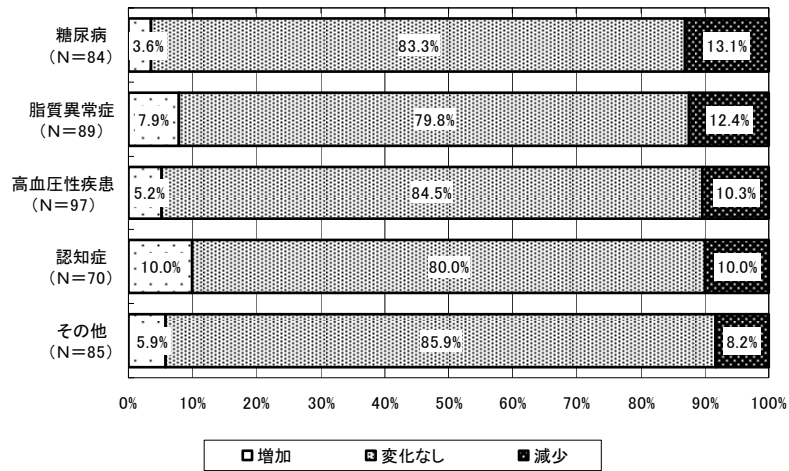
<生活機能の検査頻度>



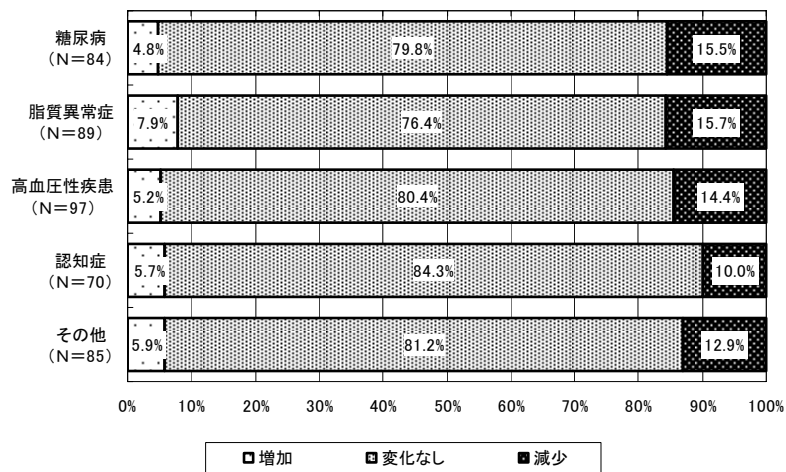
<身体計測の頻度>



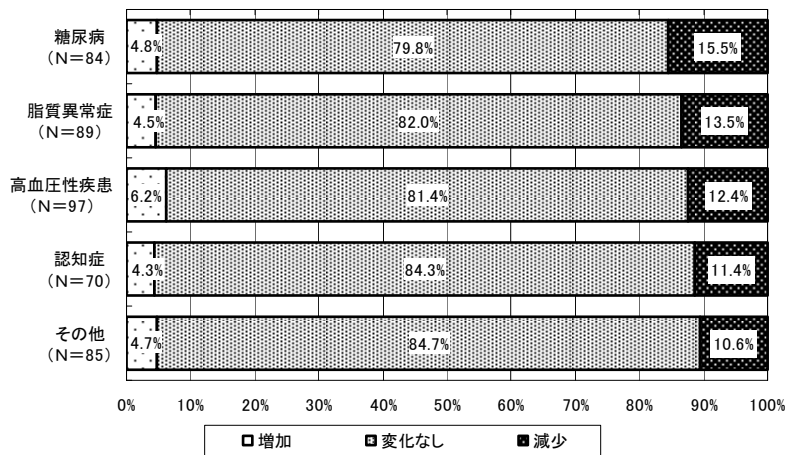
<検尿の頻度>



<血液検査の頻度>

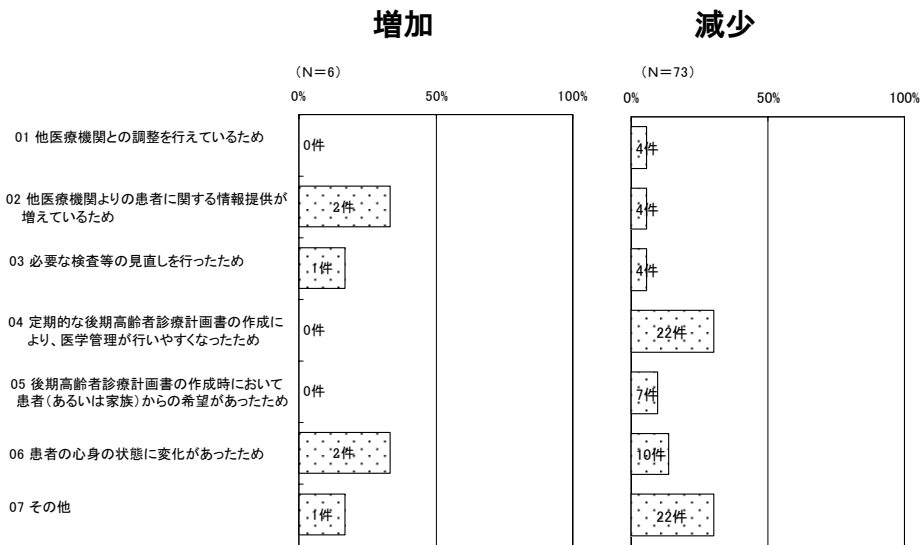


<心電図検査の頻度>

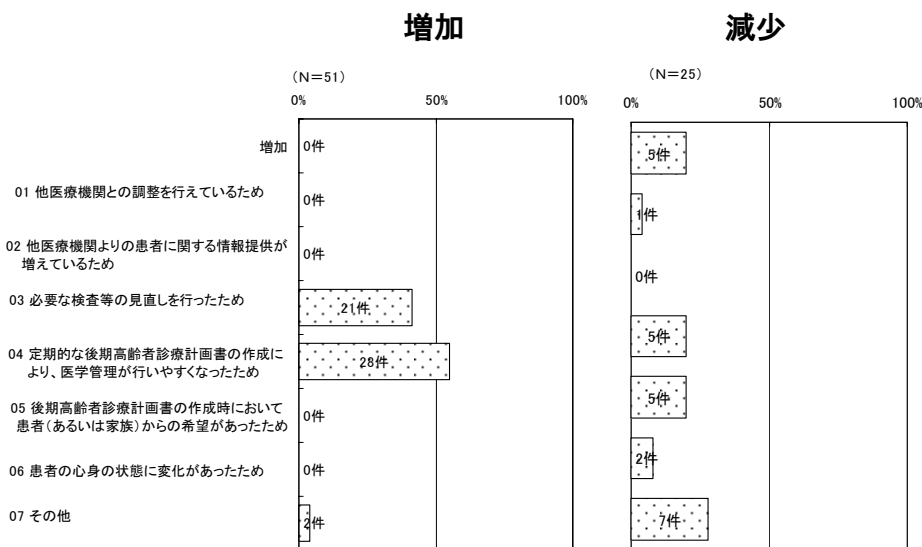


・通院回数や検査頻度など主病別の前年・今年の数値変化とその理由（図表 1-16）

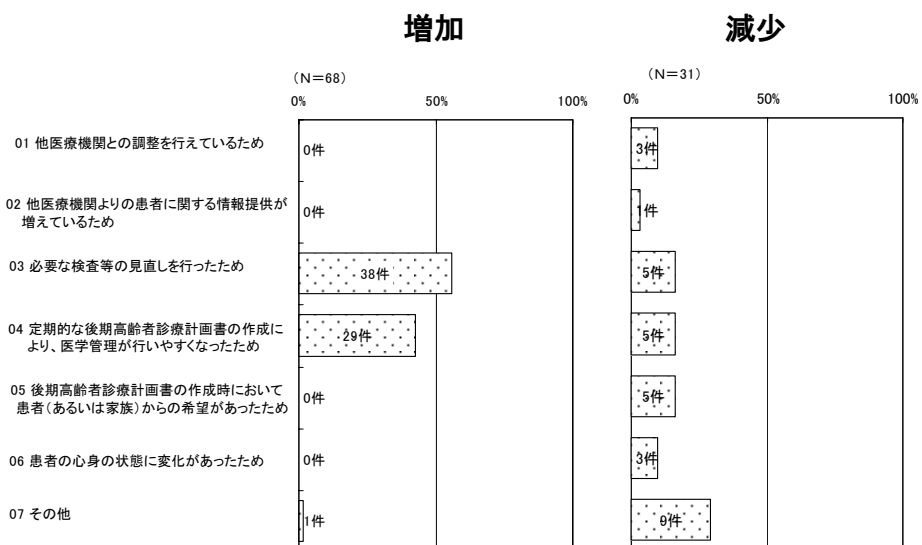
＜3ヶ月間の総通院回数＞



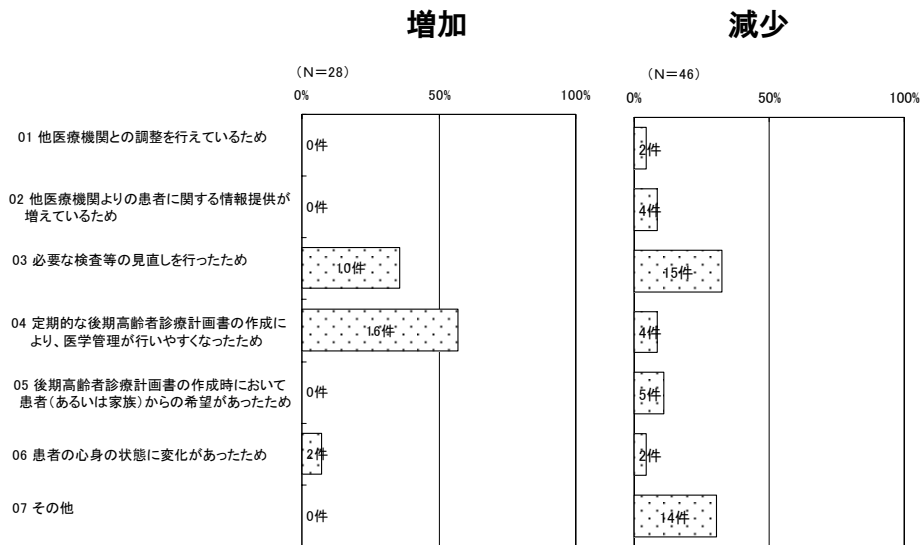
＜生活機能の検査頻度＞



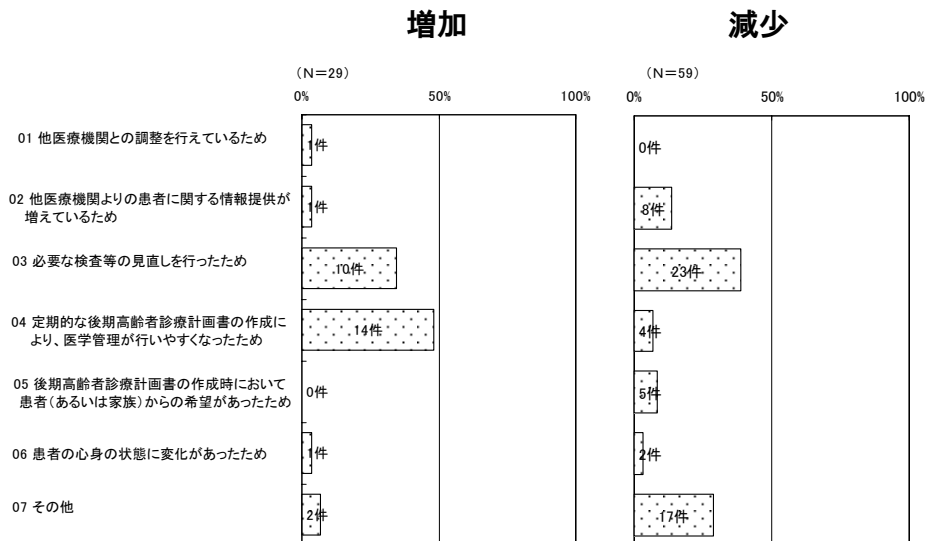
＜身体計測の頻度＞



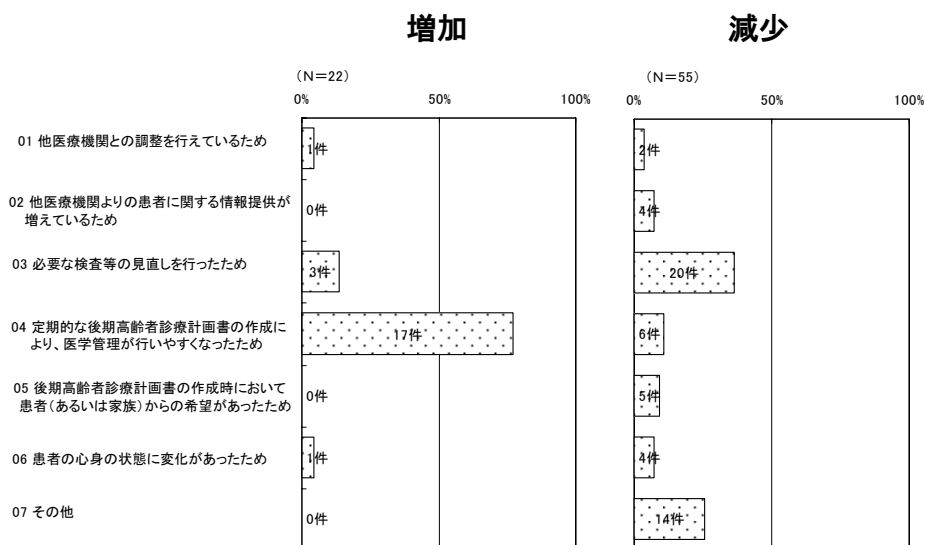
<検尿の頻度>



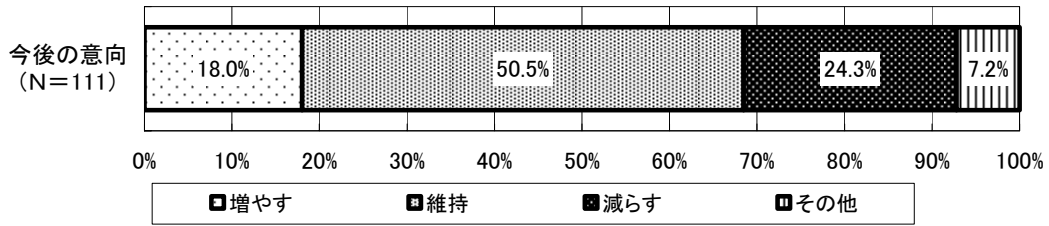
<血液検査の頻度>



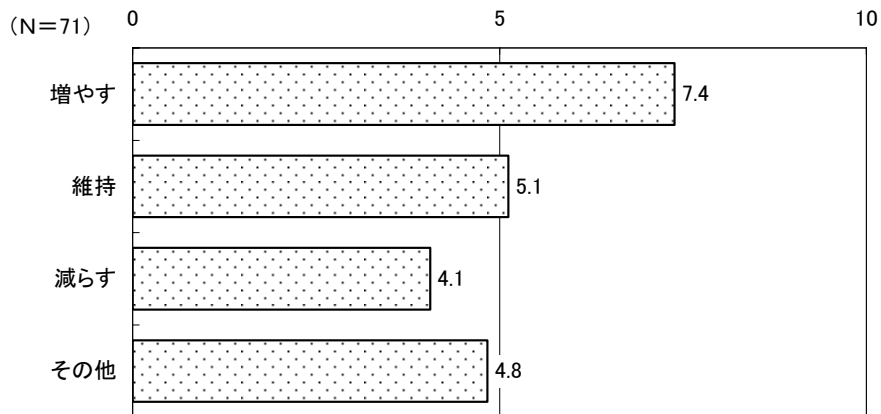
<心電図検査の頻度>



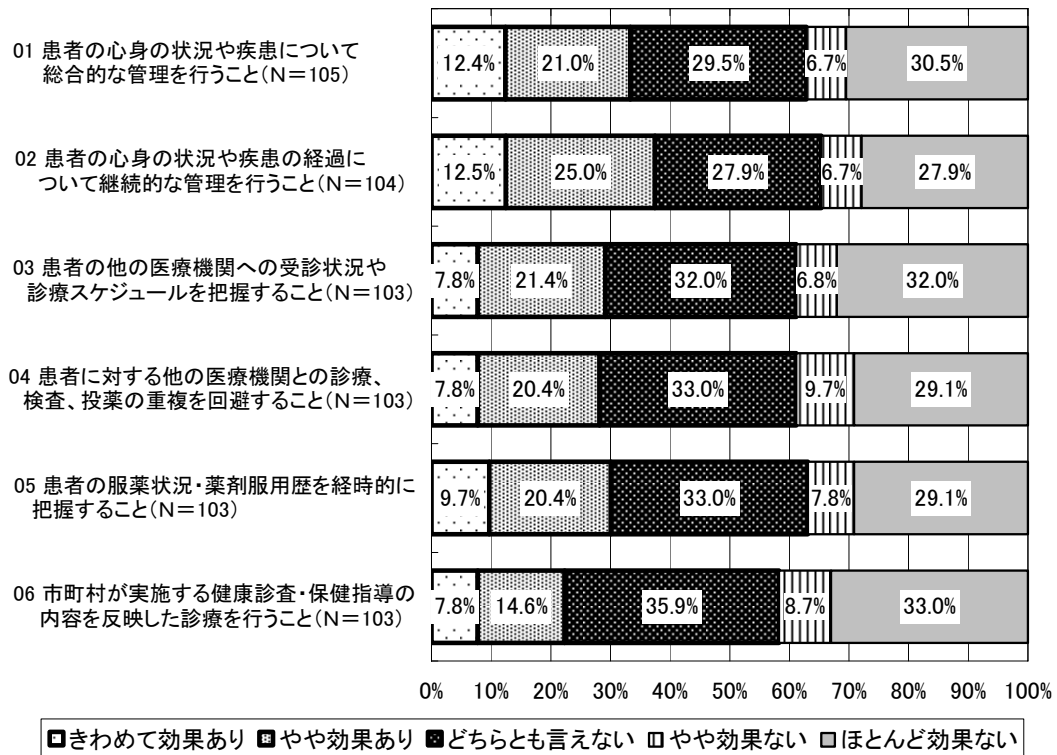
・後期高齢者診療料の算定に係る今後の意向（図表 1-17）



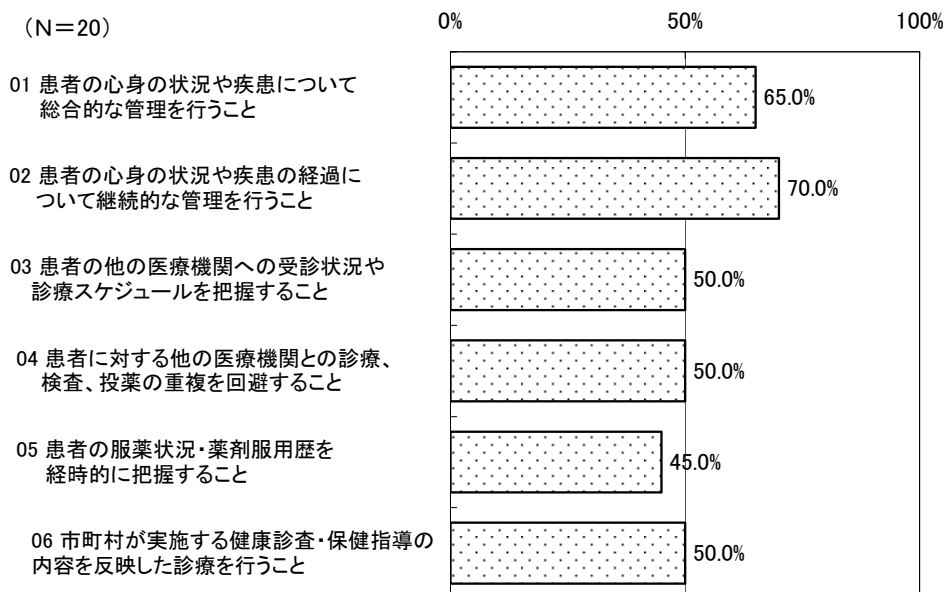
・後期高齢者診療料の算定に係る今後の意向別 平均連携施設数（図表 1-18）



・後期高齢者診療料の算定に係る効果について（図表 1-19）

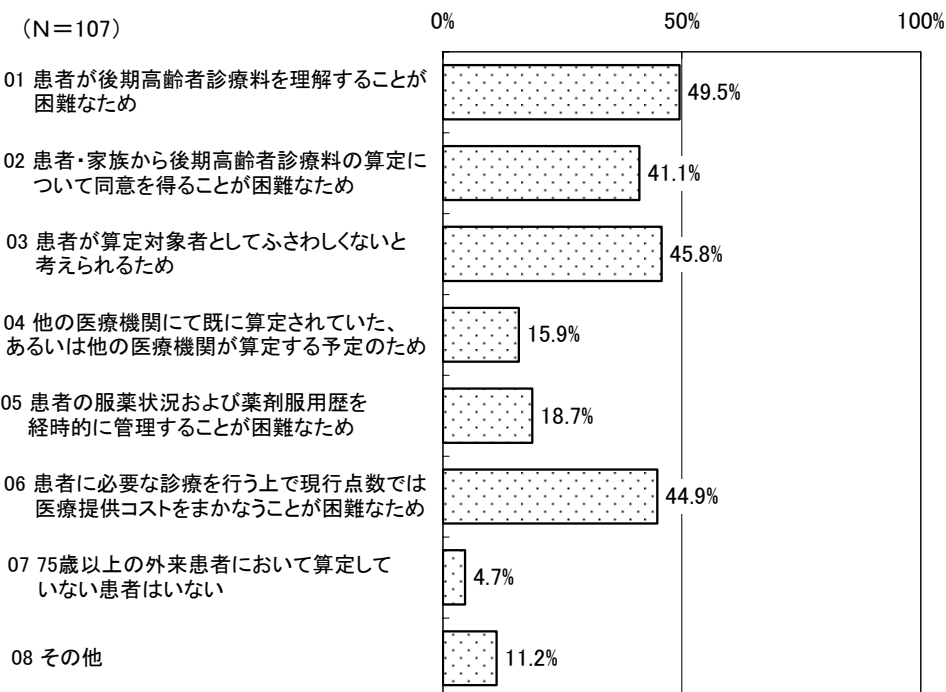


・ 算定患者を今後増やす予定の施設における項目別効果有割合（図表 1-20）



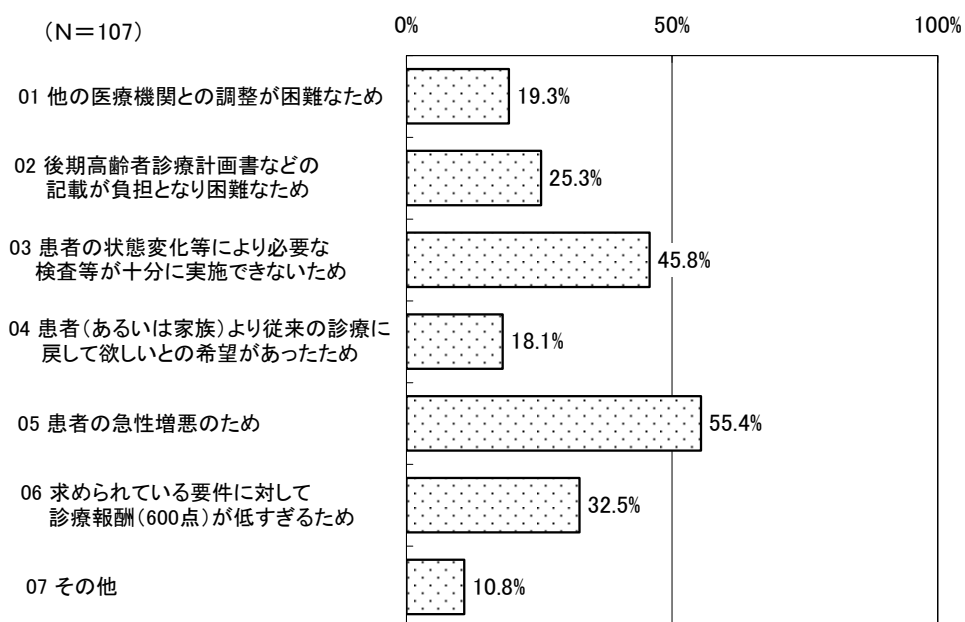
・ 後期高齢者診療料を算定できない患者がいる場合の理由について

＜複数回答＞（図表 1-21）



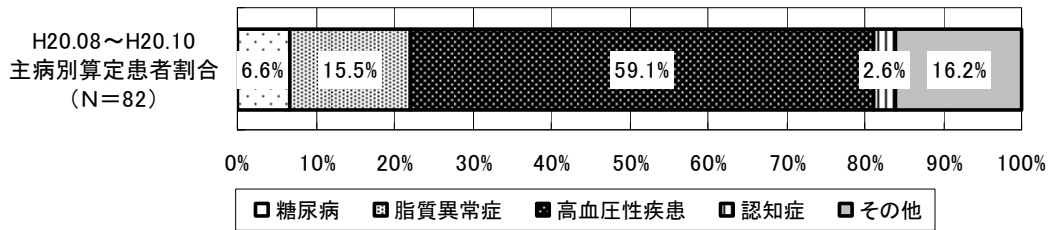
・ 後期高齢者診療料の算定を途中で止めた場合の理由について

＜複数回答＞（図表 1-22）

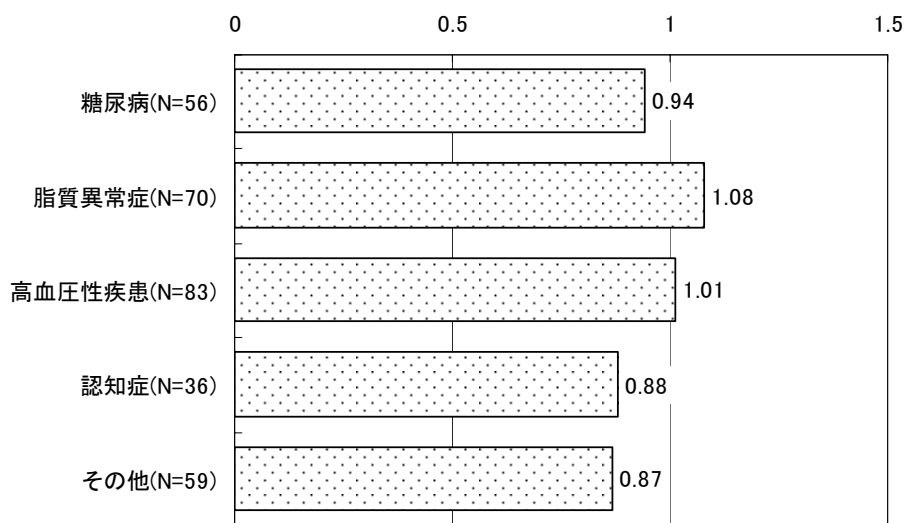


(3) 後期高齢者診療計画書の作成状況

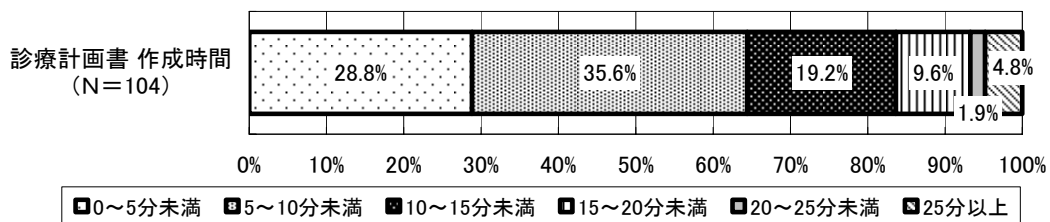
・主病別 後期高齢者診療料の算定患者数割合 (H20.8~H20.10) (図表 1-23)



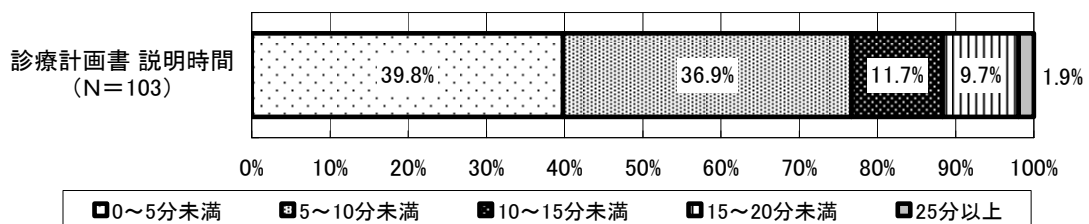
・主病別 後期高齢者診療計画書の平均交付回数 (H20.8~H20.10) (図表 1-24)



・後期高齢者診療計画書の作成に要する平均時間 (図表 1-25) …平均 11.79 分



・後期高齢者診療計画書の記載に要する平均説明時間 (図表 1-26) …平均 9.49 分



- ・ 後期高齢者診療計画書に記載の緊急時入院先病院数・・・ 平均 2.13 施設
- ・ 後期高齢者診療計画書及び本日の診療内容の要点に対する意見

□後期高齢者診療計画書について

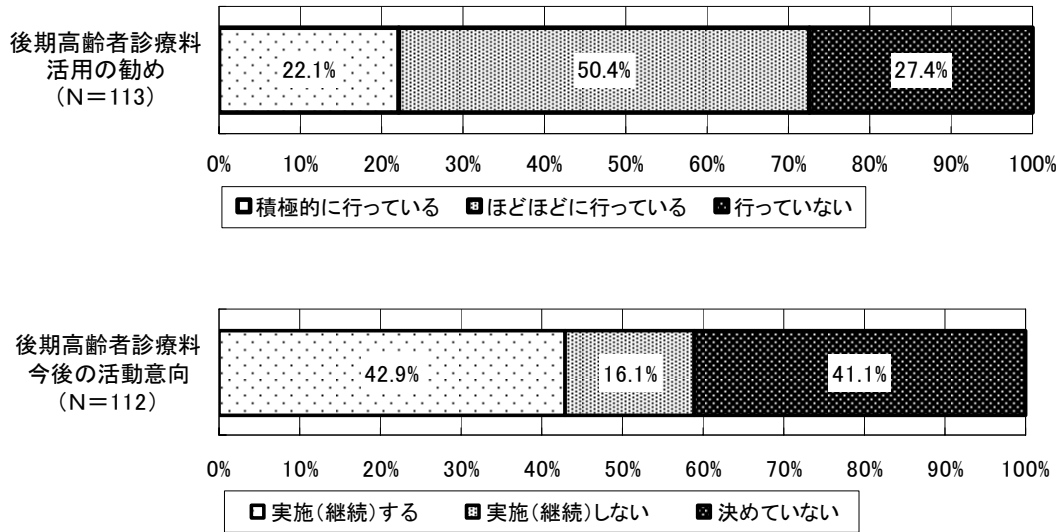
- ・ 計画書作成は医療行為ではないのではないか
- ・ 項目が多すぎる（75歳以上の高齢者には理解しづらいのもっと簡易に）
- ・ 要介護度の情報の活用方法が不明
- ・ 連携医療機関の記入が必須であると患者に誤解されている
- ・ 血液検査、心電図などは必ずとるべきなのか
- ・ 途中で計画変更した場合の訂正が容易にできたり、イラスト等が活用できると良い
- ・ スケジュールのチェックは手間がかかる

□本日の診療内容の要点について

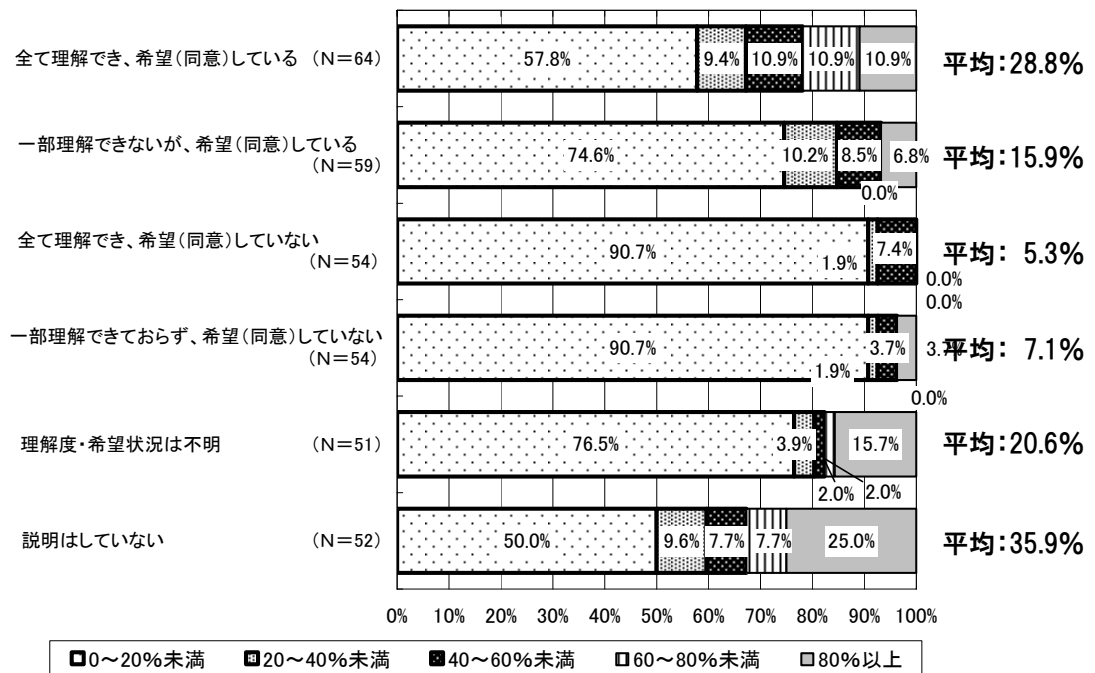
- ・ 診療の度に書類発行するのは煩雑である（二度手間であり事務処理のみ増える）
- ・ 話して説明する方が理解をされるし、発行したとしても読んでもらえていない
- ・ 項目が多すぎる（75歳以上の高齢者には理解しづらいのもっと簡易に）
- ・ カルテ記載で足りるはず
- ・ 体温、投薬内容は不要ではないか
- ・ 「毎日の生活での留意事項」欄が小さい
- ・ 薬剤に関しては変更点・注意点を書くようにした方が有意義ではないか
- ・ 慢性疾患の場合は指導内容が固定化されるので口頭での説明のみで十分であり、持ち帰らない患者も多い
- ・ 次受診日時を事前に決めるのは難しい

(4) 後期高齢者診療料に係る患者の理解度・満足度など

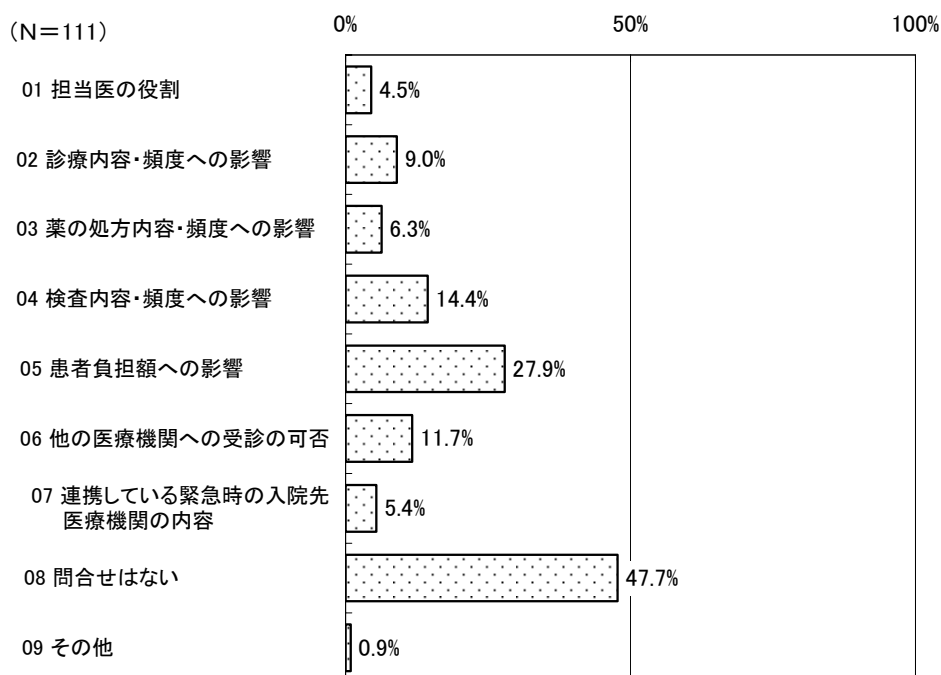
・後期高齢者診療料の活用に向けた姿勢について (図表 1-27)



・後期高齢者診療料への理解度別 75歳以上外来患者割合分布 (図表 1-28)

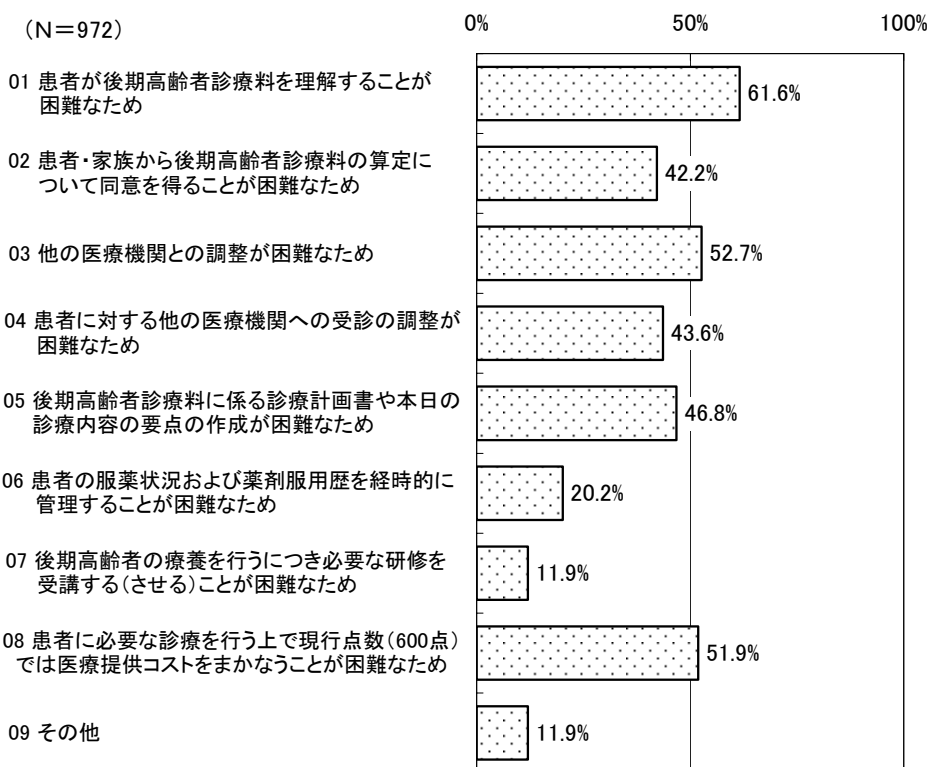


・後期高齢者診療料に係る外来患者からの問合せ内容＜複数回答＞（図表 1-29）



（5）後期高齢者診療料を1人も算定していない場合の理由

・後期高齢者診療料を1人も算定していない場合の理由＜複数回答＞（図表 1-30）



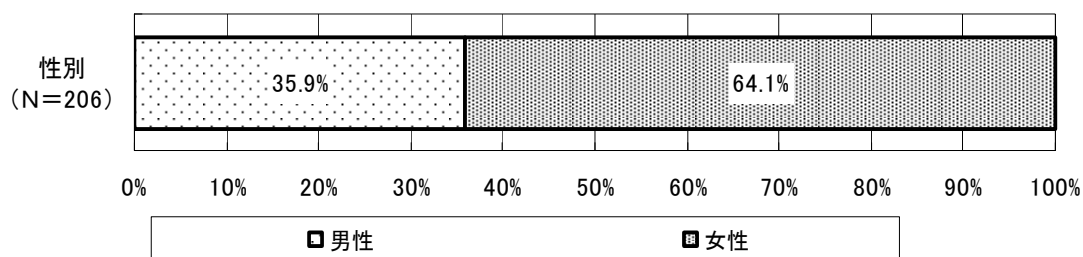
2. 患者調査

(1) 回収の状況 (図表 2-1)

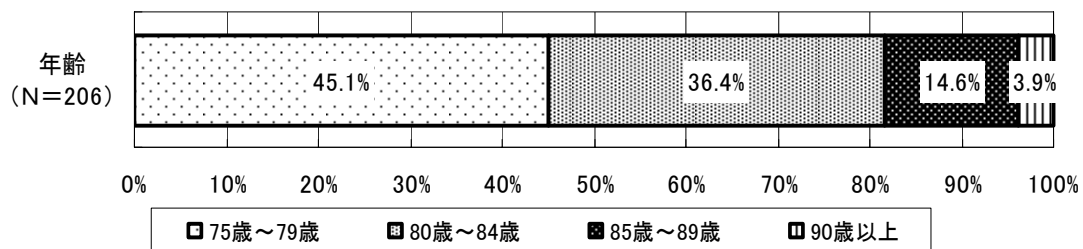
	有効回収数
患者調査票	206件

(2) 患者の属性

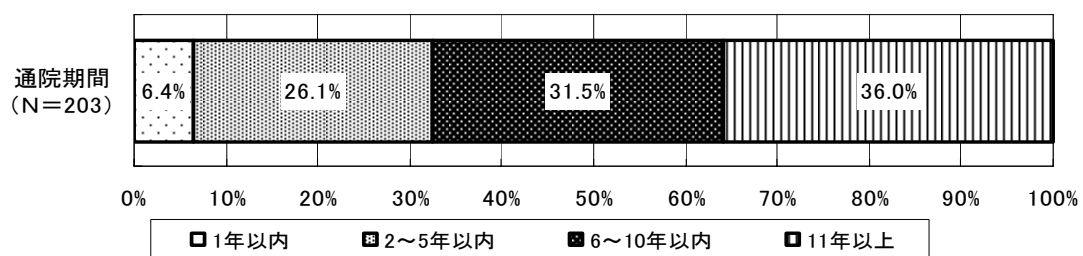
・性別 (図表 2-2)



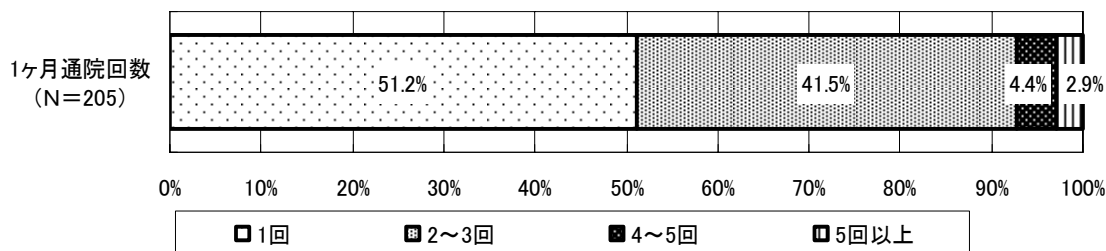
・年齢 (図表 2-3)



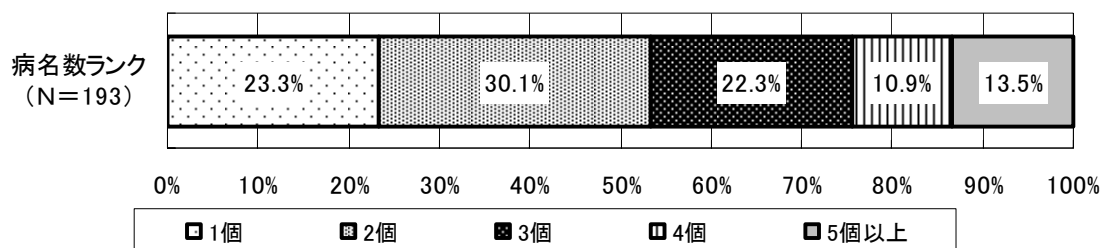
・調査票を渡された医療機関への通院期間 (図表 2-4)



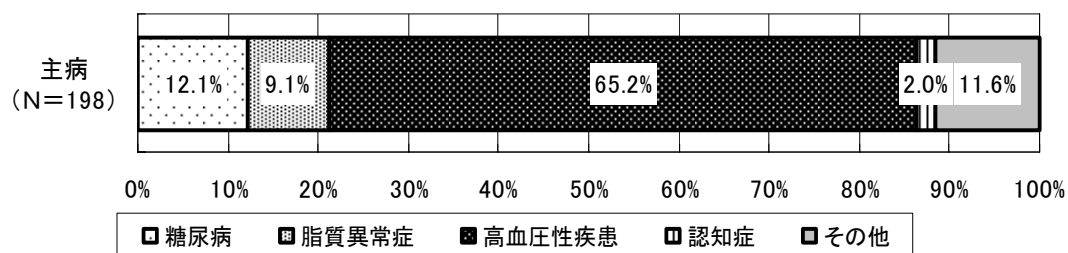
・1ヶ月通院回数 (図表 2-5)



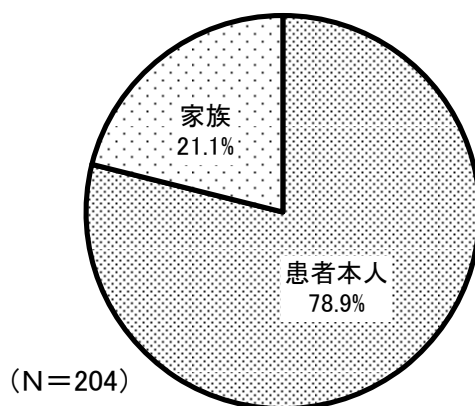
・後期高齢者診療計画書に記載の病名数（図表 2-6）・・・平均 2.75 個



・後期高齢者診療計画書に記載の主病（図表 2-7）

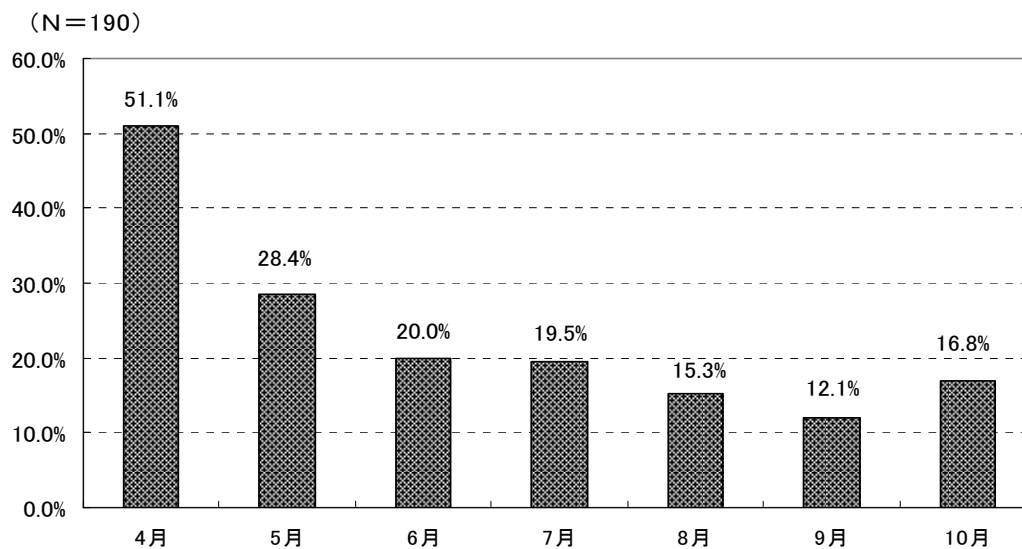


・本アンケートの記入者（図表 2-8）



(2) 患者の受診状況

・後期高齢者診療計画書を渡された月（図表 2-9）



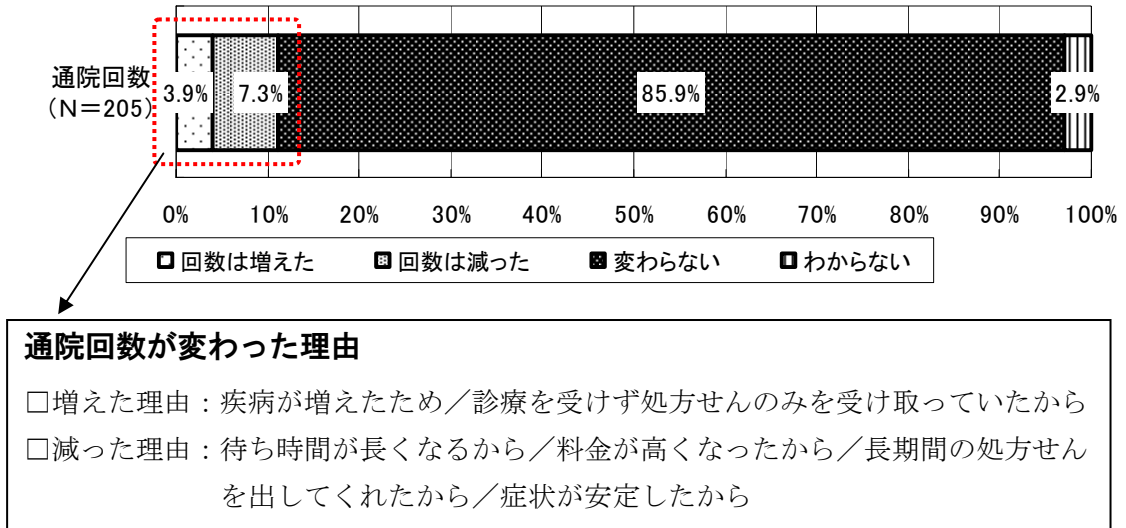
・後期高齢者診療計画書の渡され方について（図表 2-10）

(N=190)

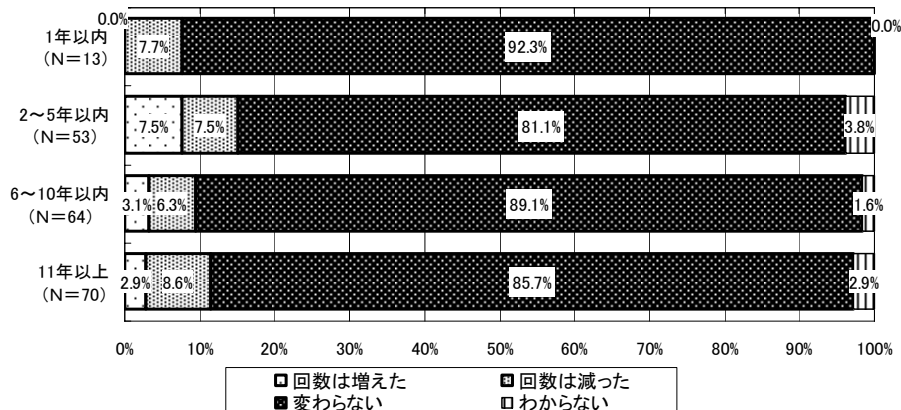
	計画書を渡された月	割合
1	4月	34.7%
2	5月	19.5%
3	6月	10.5%
4	4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月	6.8%
5	7月	5.8%
6	4月・7月・10月	4.2%
7	8月	3.7%
8	9月	2.6%
9	10月	1.6%
10	4月・7月	1.6%

(2) 後期高齢者診療料の算定前後の変化

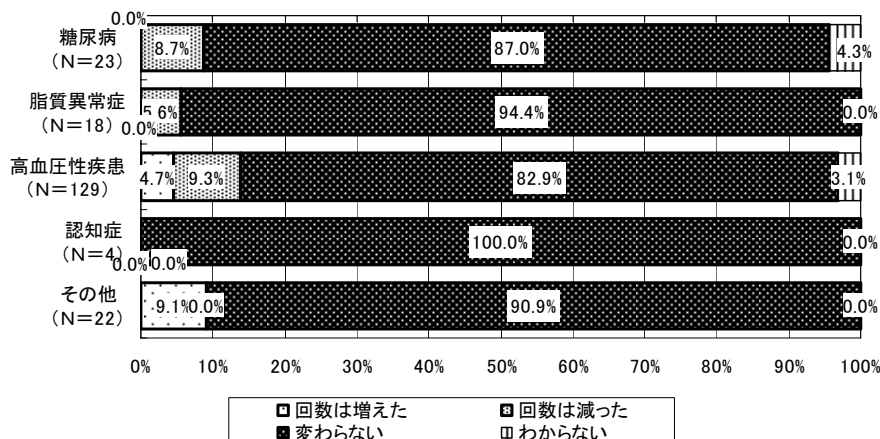
・ 後期高齢者診療料の算定前後の通院回数の変化 (図表 2-11)



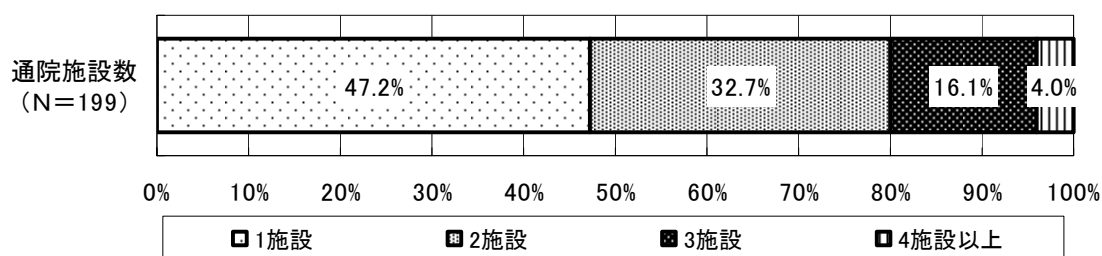
・ 通院期間別 算定前後の通院回数の変化 (図表 2-12)



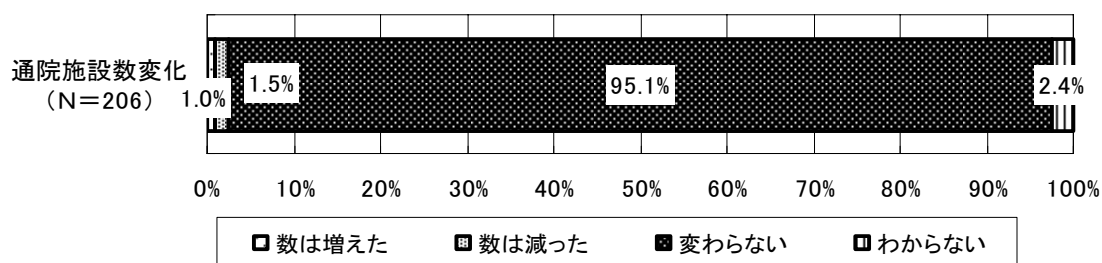
・ 主病別 算定前後の通院回数の変化 (図表 2-13)



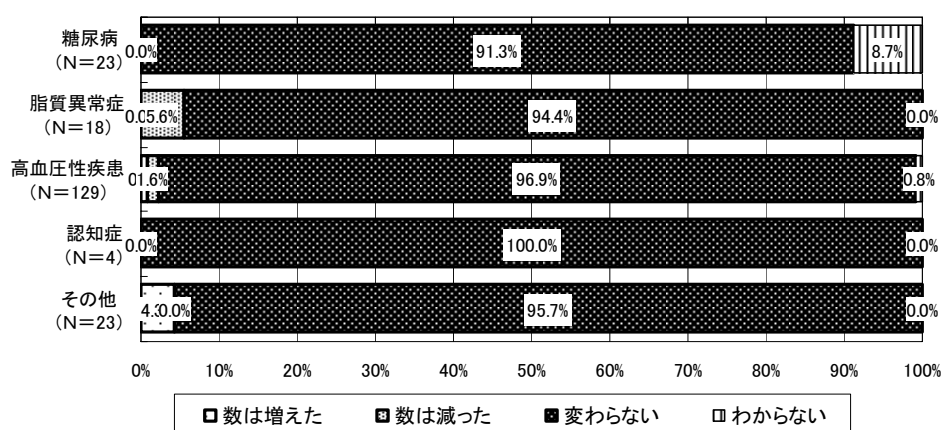
・ 通院施設数（図表 2-14） ……平均 1.78 施設



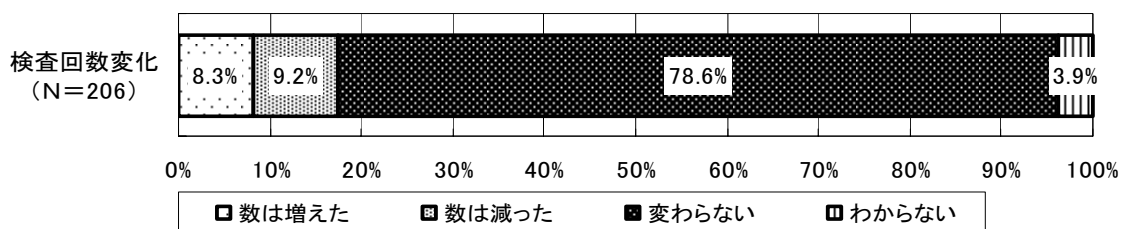
・ 後期高齢者診療料の算定前後の通院施設数の変化（図表 2-15）



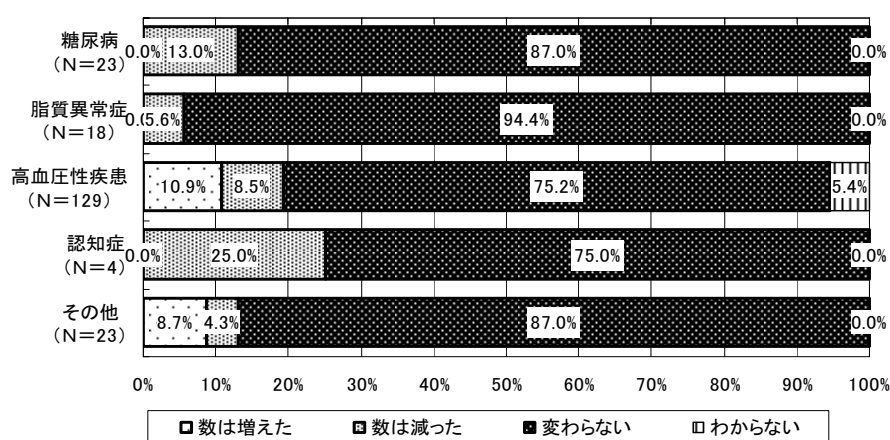
・ 主病別 通院施設数の変化（図表 2-16）



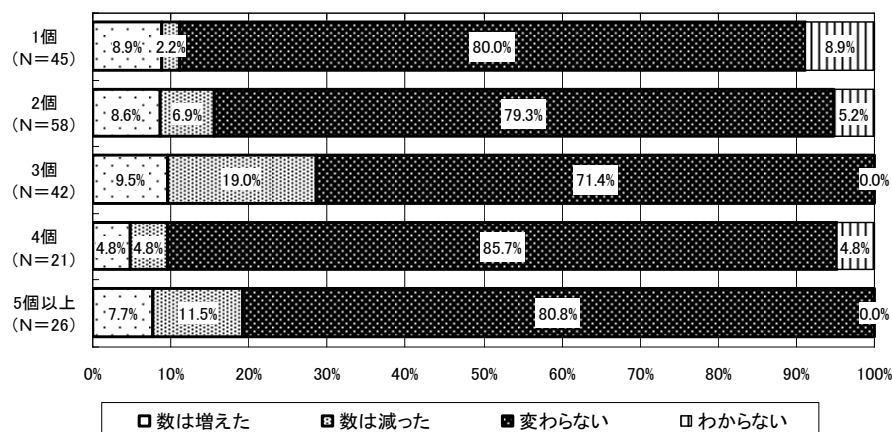
・ 後期高齢者診療料の算定前後の検査回数の変化（図表 2-17）



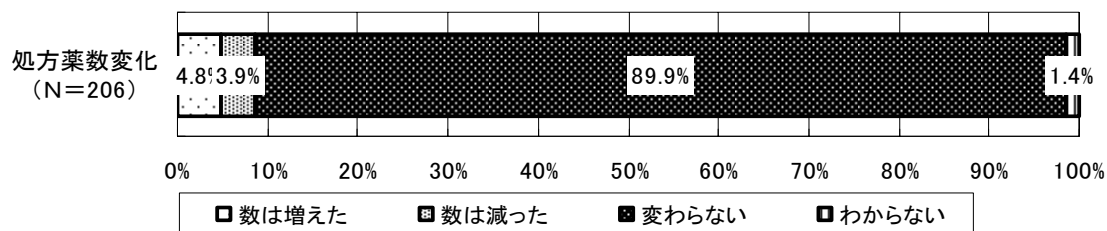
・ 主病別 算定前後の検査回数の変化（図表 2-18）



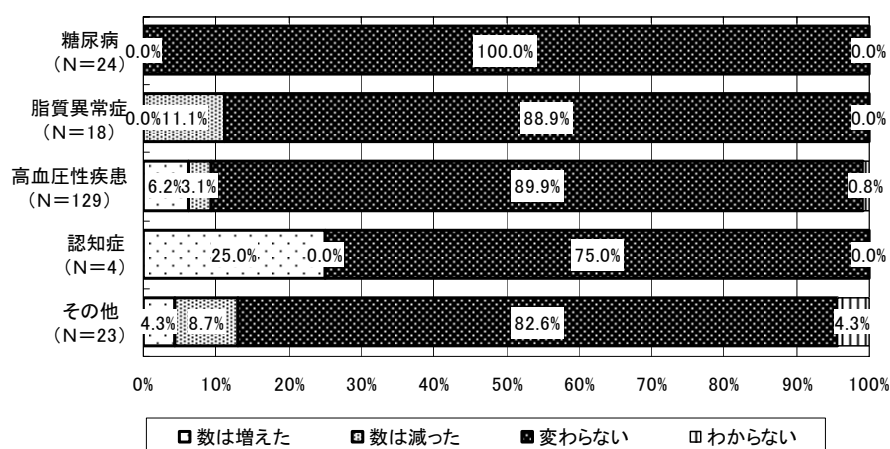
・ 記載病名数ランク別 算定前後の検査回数の変化（図表 2-19）



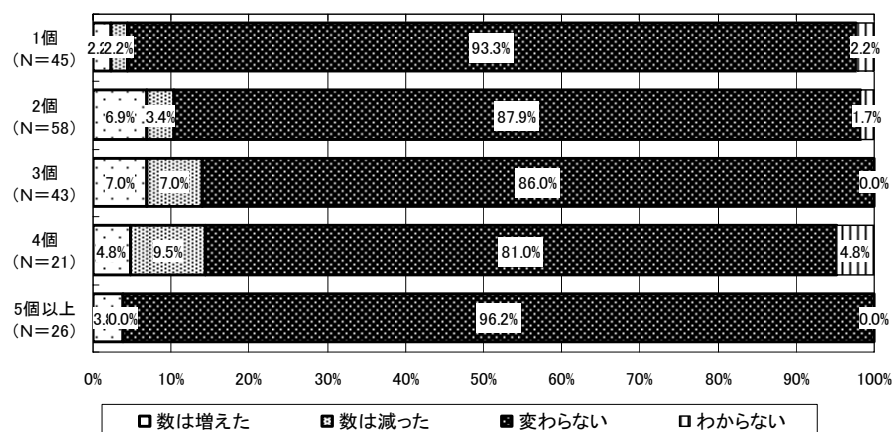
・ 後期高齢者診療料の算定前後の処方薬数の変化（図表 2-20）



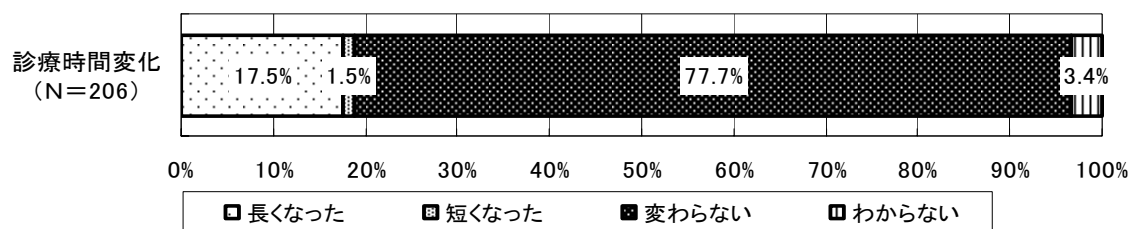
・ 主病別 算定前後の処方薬数の変化（図表 2-21）



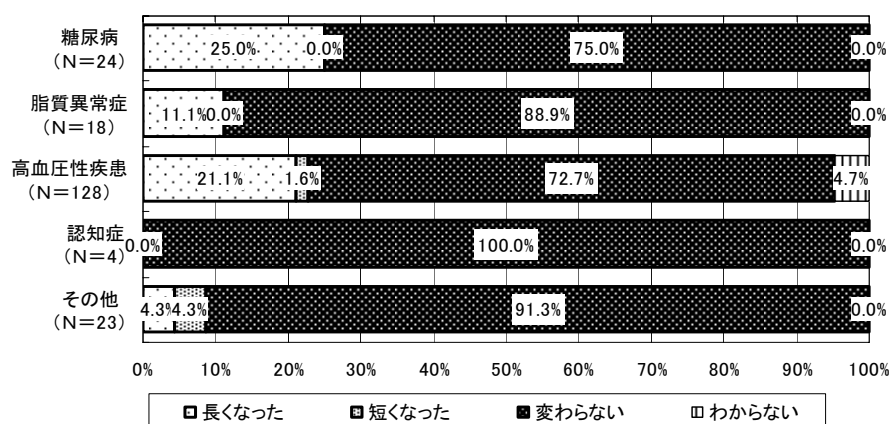
・ 記載病名数ランク別 算定前後の処方薬数の変化（図表 2-22）



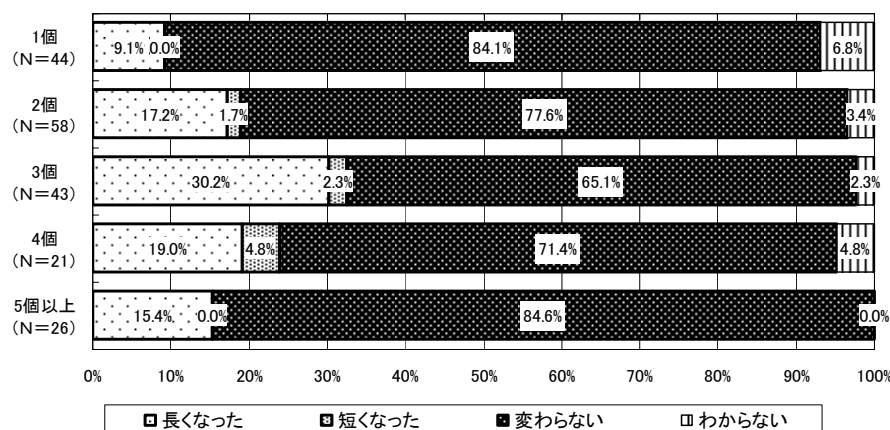
・ 後期高齢者診療料の算定前後の診療時間の変化（図表 2-23）



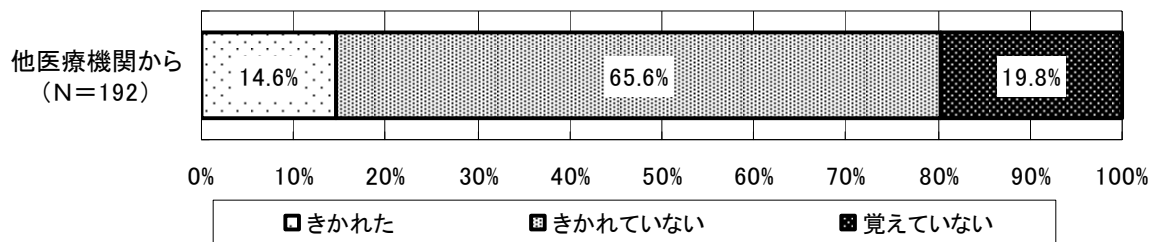
・ 主病別 算定前後の診療時間の変化（図表 2-24）



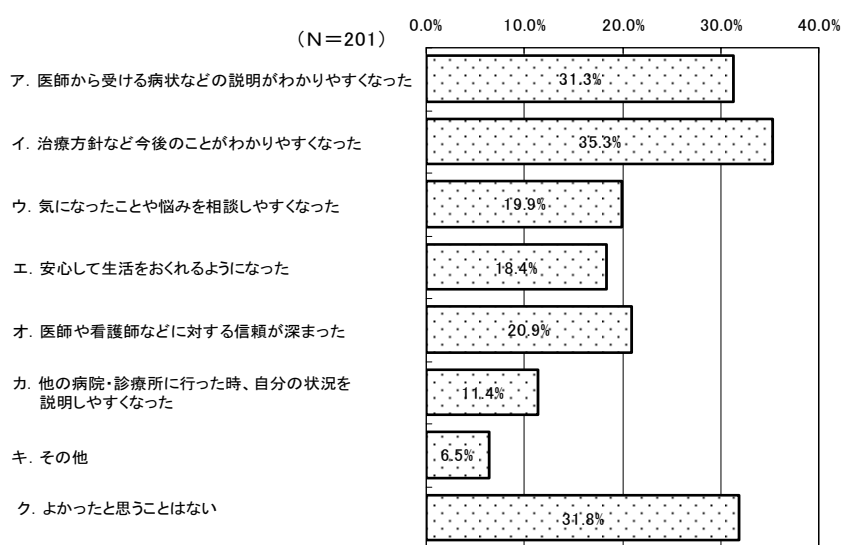
・ 記載病名数ランク別 算定前後の診療時間の変化（図表 2-25）



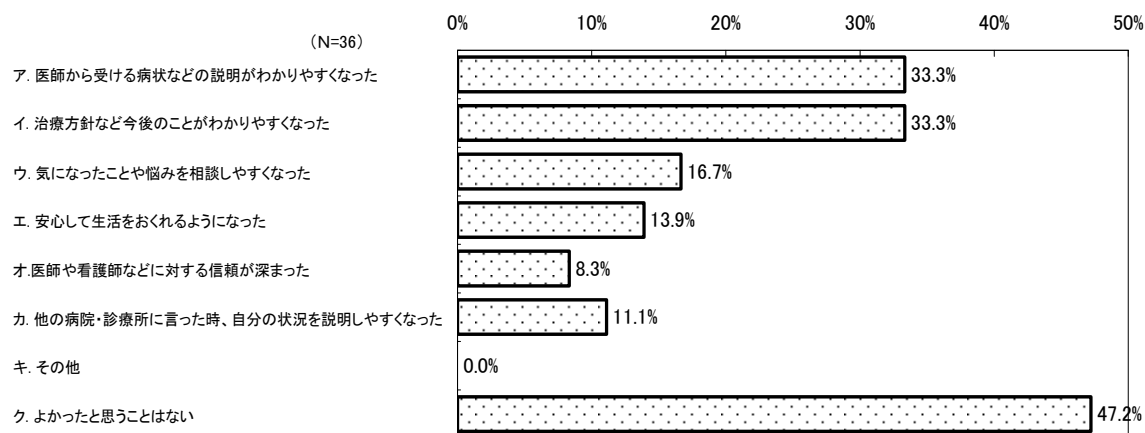
・ 他医療機関からの対応状況（図表 2-26）



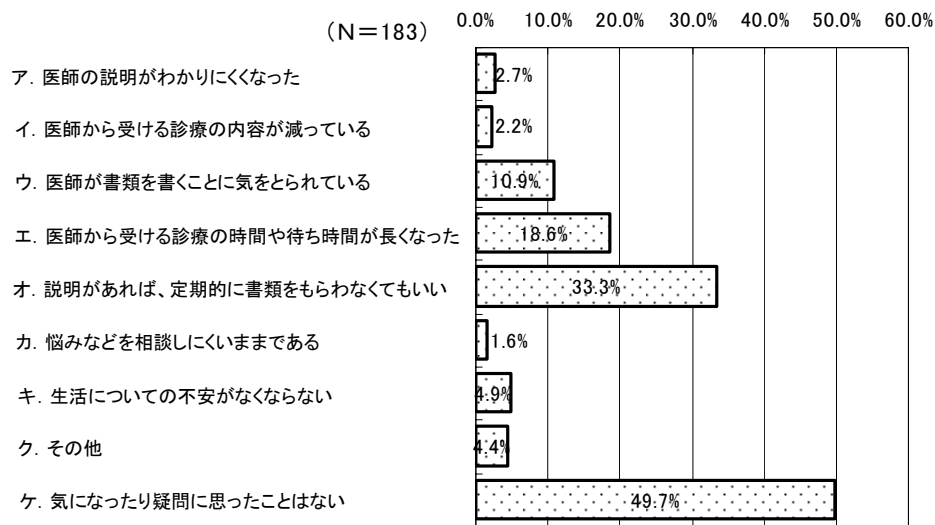
・ 後期高齢者診療料の算定後のよかった点＜複数回答＞（図表 2-27）



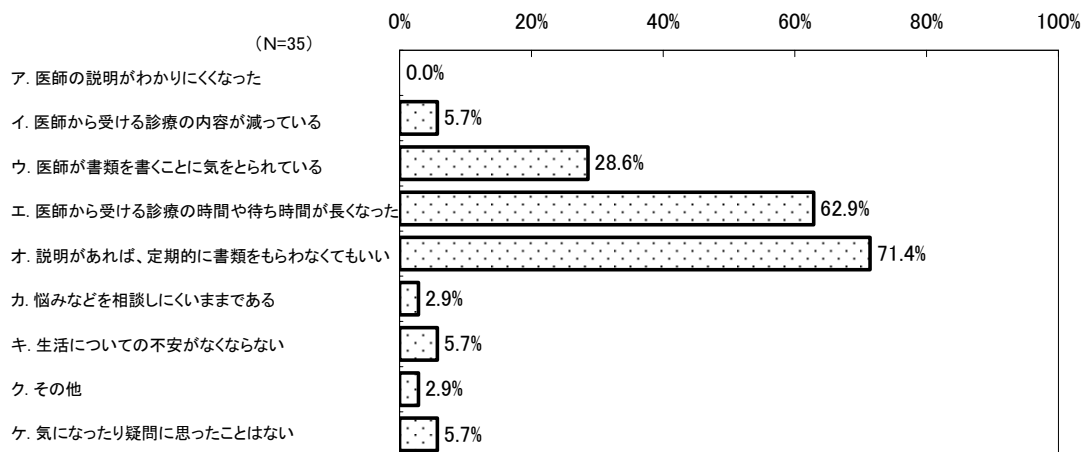
・ 診療時間「長くなった」方の算定後よかった点（図表 2-28）



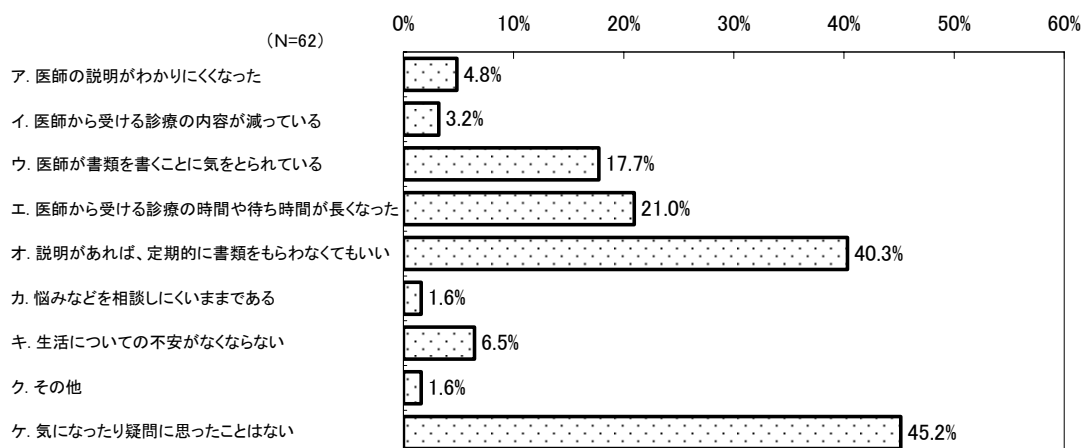
・後期高齢者診療料の算定後の気になった点・疑問点<複数回答> (図表 2-29)



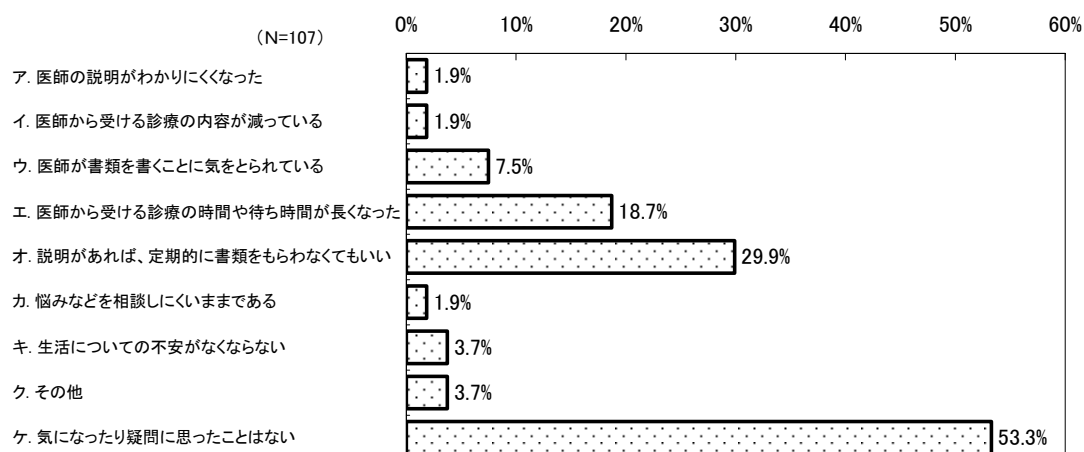
・診療時間「長くなった」方の気になった点・疑問点 (図表 2-30)



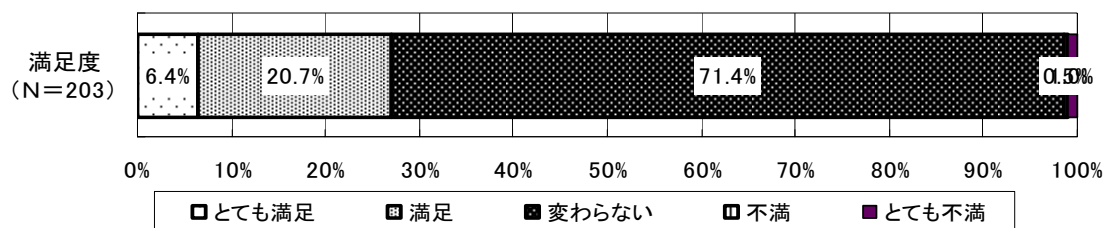
・「よかったと思うことがない」方の気になった点・疑問点 (図表 2-31)



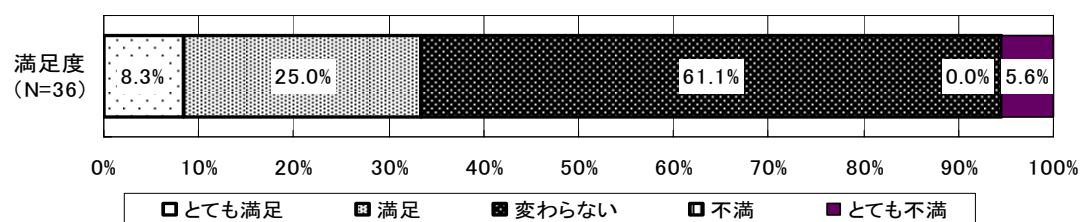
・「よかったと思うことがない」以外の方の気になった点・疑問点（図表 2-32）



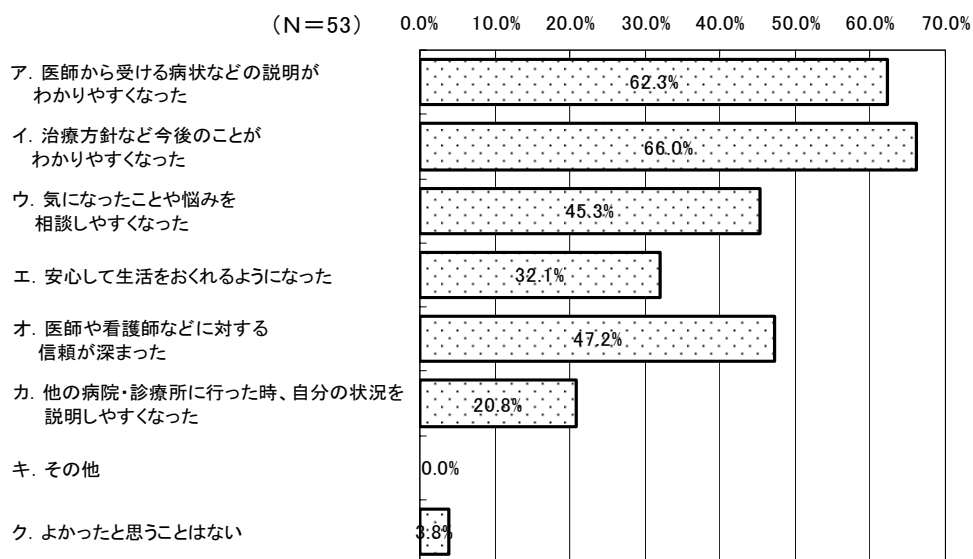
・後期高齢者診療料の算定前後の診療等に対する満足度の変化（図表 2-33）



・診療時間「長くなった」方の満足度の変化（図表 2-34）



・満足している患者の感じるよかった点（図表 2-35）



・「後期高齢者診療計画書」及び「本日の診療内容の要点」についての希望や意見

□後期高齢者診療計画書について

- ・ 毎月は不要
- ・ 今後のスケジュールが分かって良い
- ・ 治療方針や履歴がわかってよい
- ・ 口頭で説明があれば良い
- ・ 内容が具体的でない

□本日の診療内容の要点について

- ・ 毎月は不要
- ・ 本人が検査結果を覚えていないので都合が良い
- ・ いつも同じことしか書いてない